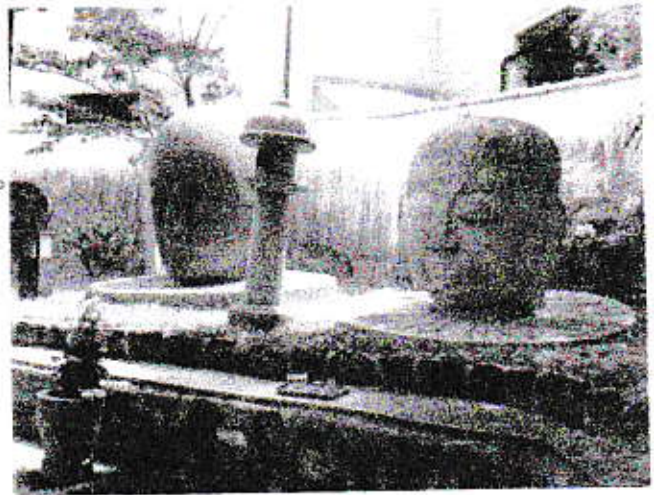
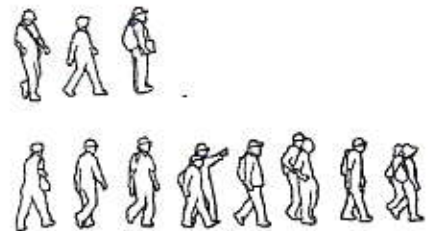


小浜 B/S 方向に引き返し、本妙寺、皇大神社前を経て、西宮街道(通称馬街道)へ右折すると、高台の上に露座の2体の首だけの大きな地蔵さんが赤い涎掛けを付けて鎮座していた。高さ1.3m 耳だけでも60cm程の素朴な美しいもので、眺めていると心安らく温かさを感じる。元々坂の下の墓地の蔵に在ったものを移しお堂を建てようとしたが大工が病気になる。「お堂に祀られるのを嫌った」と云うことで雨晒しとなったと伝えられています。小浜が海の入り江の頃、漁師が夢のお告げで砂浜から掘り出した。さらに伊丹の殿様が夢に現れた地蔵に願掛けし頭痛が治癒したお礼に造ったとか、武庫川の洪水で流れ着いたなど、由来に諸説あり祀られた時期は判らない。昭和50年に拝堂が火災で顔が欠けたので、近隣の方が新しい地蔵を祀ったそうだ。



参拝後バスで宝塚駅前に出て解散した。



古民家の並ぶ街を訪ねて歩く

西国街道沿いの萱野、稲集落に残る古民家の佇まいを探索

みのお市民まちなみ会議

平成 27 年 3 月 10 日 予告

本年度最初のウォーキングは、まちなみ会議の研究テーマ「古民家調査」の一環として訪ね歩くこととしました。皆さんは「古民家とは？」と聞かれたら、どう説明しますか。まちなみ会議の論議でも古民家の定義は、意見百出でした。古民家の定義は、あまり明確でないのです。そこで、実際の建物を見て認識を共有することになりました。

古民家は市内に広く分布し、約 500 戸が残っています。多くは旧集落に在ります。箕面には西国街道、摂丹街道、箕面道、巡礼道など多くの道が東西南北に通じ、その道筋に集落が発達したので、昔ながらの集落に沢山の古民家が残っているのです。

しかし、時代の変化に伴い生活様式も大きく変化し、建物の改築や改造など、旧来の姿を留めているものは非常に少なくなっています。その為西国街道などは何度も歩いているのに、殆ど気付かず見過ごしてしまっています。この機会に認識を改め、箕面の街並みの美しさの再発見をしましょう。双眼鏡で飾り瓦、虫籠窓の構造を注視するのも一興かと思えます。(目の良い人は見えますが)また、涓泉亭(萱野三平旧宅)、稲集落ではカルピス発明者三島雲海生誕の教学寺訪問などの楽しみも織り込みながらワイワイ、キョロキョロ歩きましょう。

皆様、お誘い合わせて、多数の方々のご参加をお待ちしています。特にまちなみ会議の会員の方は、今後「古民家」について話し合う際、定義の一致が不可欠なので、万障繰り合わせて是非参加下さい。

記

実施期日: 4 月 18 日(第三土曜日) 自宅出発前に雨なら 25 日に順延、次も雨なら取り止め

集合場所: 阪急バス萱野中央停留所(千里方面のりば) 9 時 30 分

コース概要: ①萱野中央 B/S 出発 9 時 35 分

②西国街道と箕面道短絡路(馬道)の分岐点

③R171 を横断し、萱野集落へ

④萱野集落の古民家を探訪(古民家のイメージを一致させる)

⑤涓泉亭(萱野三平旧宅)で休憩

⑥稲集落(古民家探索) カルピス発明者三島雲海生誕の教学寺訪問

⑦西国街道を辿って箕面高校前交差点で解散

歩行距離:約 3.2km (殆ど平坦な道です)

参加費:配布資料費及び保険料として当日一人 100 円頂ます。なを、取消期日経過後の無断欠席の場合は、保険料等払込み済みですので参加費を頂きます。

定員:定員 30 名。但し、電話による事前申し込み、締め切りは 4 月 15 日ですが、定員に達すれば締め切ります。(取消期日も 4 月 15 日)

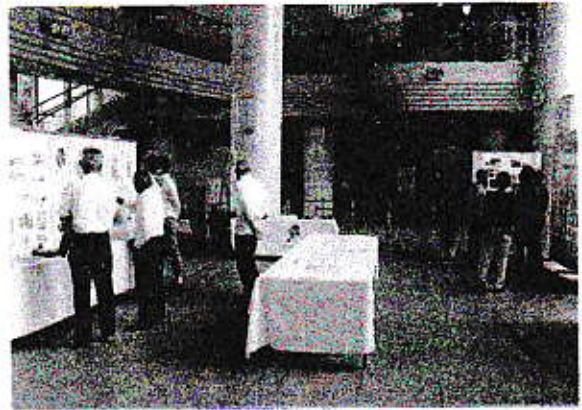
申込み先:TEL072-723-3298 大町凱彦(よしひこ)まで、お名前と電話番号を連絡ください。(TEL No.は実施、延期の連絡、及び緊急連絡用)

以上

★まちなみ会議活動記録★

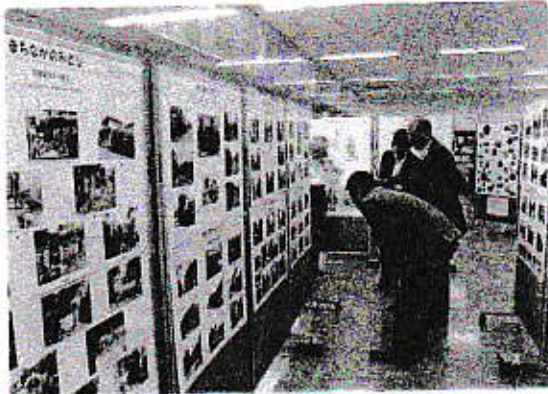
- 8月24日 例会:パネル展の構想と作成の状況報告など
- 9月1日 例会:パネル展内容や作成作業の打合せなど
- 9、28日 パネル作成作業 市民活動センター
- 14日 例会:パネル作成作業の最終確認など
- 20日 タウンウォッチ "坊島から白島、如意谷の古民家を見る"

21~28日 NPO フェスタにて景観パネル展示



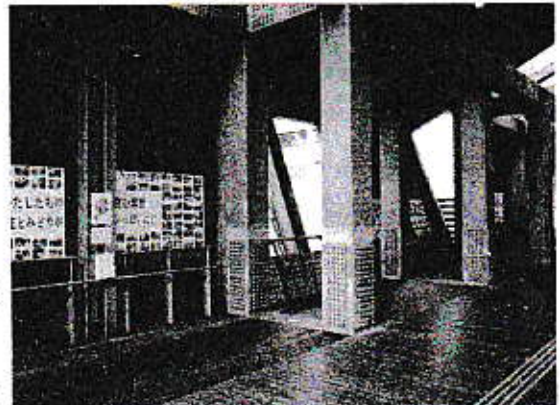
パネル展 メイプルホールロビー

- 10月1日 市主催シニア塾まち歩きグループの案内 "彩都の住宅街を見る"
- 12日 まちなみ通信 53号(パネル展特集号)発行
- 12~18日 まちなみパネル展 メイプルホールロビー
- 25日 タウンウォッチ "今宮から船場を経て稲ふれあいセンターまで"
- 11月2~9日 まちなみパネル展 市民活動センター
- 15日 タウンウォッチ "石橋から猪名川まで辿る"
- 16日 例会 パネル展の振り返りや、古民家調査構想サロン "箕面で見発見された飲物" 高岡会員



パネル展 市民活動センター(市長ご来場)

- 12月18~26日 パネル展示 かやのさんぺい橋
- 21日 例会:本年の活動の振り返り、新年度構想検討
- 1月7~30日 パネル展示 泉州池田銀行箕面駅前支店
- 7日~ パネル展示 りそな銀行箕面支店
- 17日 タウンウォッチ "宝塚市小浜宿を訪ねる"
- 18日 例会:活動報告、古民家調査の具体化検討
- 2月3~27日 パネル展示 みのおライフプラザ・アトリウム
- 15日 例会:新年度のテーマ検討、古民家写真集を基に、研究方策の検討



パネル展示 かやのさんぺい橋

- 3月10日 大阪美しい景観づくり推進会議で片岡会員が "箕面市の緑視率について"講演
- 15日 例会:古民家研究の着手他 サロン "歴史にみる暦と干支に親しむ" 大塚会員
- 20日 まちなみ通信 54号発行



パネル展示 みのおライフプラザ・アトリウム

お断り:前号は紙面の都合で活動記録を掲載できませんでした。合わせて記載しました。

後編 編集

・巻頭のことばは、片岡事務局長の「まちなみ景観とみどり」で、景観を構成する要素は街それぞれに異なりますが、私たちの住む箕面は「みどり」が大きな柱となっています。箕面市域の60%を占める北摂の山々は、市民の大きな財産であり、それを背景にみどり豊かな景観が展開されています。この「みどり」を維持し守り育てるのは、行政(公のみどり)と私たち市民(民のみどり)が協働で補完し合い成り立つことを解説されています。

・市職員西山氏の寄稿「だけどぼくらは くじけない」は岩手県大槌町へ震災復興支援のため、3年間派遣され、テレビや新聞でしか知りえない東北被災地の様子(時間の経過と共に情報が乏しくなりますが)を書かれています。習慣や歴史も異なる土地に行き、心に傷ついた人々の処に何度も通い、住民から街の復興に対する考え方を聴き、行政としての立場との調整などを図りながら、復興へ歩み出す過程を記しておられます。行間に滲み出るご苦労・懸命に立ち上がる東北の方々の現状を是非読み取って頂きたいと願います。

・シリーズ「小学校とまちのつながり」は西南小学校取材しました。地域の方々が児童のために、いろいろと工夫し交流を深めて、西国街道の宿場町瀬川・半町など歴史ある街を中心に、地域と学校が連携して子供たちを見守り育てておられました。

・「災害に強い安全な街づくり……」は、近隣で住宅建設が進んでいますが、昔からの狭隘な道が拡張され、街並みが変わってきました。担当の市職員と土地所有者との調和を図りながら、災害に強い街が出来る経過・問題点をお伝えしました。

・タウンウォッチング(街歩き)を毎号書いております。どなたも毎日、まちを歩いておられますが、多くの方は目的地を目指して一目散に歩き、また限られた区域だけを歩くため風景も見慣れて関心を失います。幼子のように、街のいろいろな事象に興味を持ち、季節の変化、街並みの違いなど「何故かな?」と考えましょう。箕面の街を深く知るための出発点です。

・みのお市民まちなみ会議のイベントのパネル展で、活動の成果を多くの市民にお伝えし、私たちの住む箕面の街並み景観の美しさを知って頂きたいと思っています。昨年のテーマの主題は「みどり」でした。皆様の身近な場所でも、花や樹木など沢山あり、しかも季節により姿が変わります。これらを絵や写真で表現し、主展示場のメイプルホール、市民活動センターの他、いろいろな場所で展示しました。倉田市長も市民活動センターで、熱心に製作者と意見交換しながらご覧になられました。(前頁の活動記録写真) 市長からこれらの成果を、更に多くの方々に如何に伝えるか、研究するよう課題を頂きました。答えとして、かやのさんべい橋、みのおライフプラザの展示などを致しました。その他の場所での展示も考えています。しかし、市長の意図は別の手法、手段だと思えます。大きな宿題として取り組みたい。(大町 凱彦)

発行: NPO みのお市民まちなみ会議 <http://minohmachinami.cocolog-nifty.com>

代表者: 今枝章平 ☎ 562-0046 箕面市桜ヶ丘 3-1-1

Tel&FAX 072-722-3253

郵便振込口座番号 0920-9-133953

